

第2回授業相互参観週間

何か良い名前を
募集中です！

第2回授業参観週間が始まりました。そんな中、大雨のため授業をカットし一斉下校の対応をした日がありました。お願いする身としても大変心苦しいです。しかし、夏休みは迫ってきています。ここで、授業内容を精選して、子どもたちの学力を伸ばす手立てを講じるのか・しないのかでは、夏休み後の学力に大きな差が生まれると思います。

各クラスの授業を参観させていただいて、どの先生も一生懸命子どもたちのために授業をされていました。ネームプレートを使用されている先生、子どもの声をどうにか拾おうとしている先生、子どもの活動に認め・褒め・励ましを行う先生など様々でした。そんな中、今回は、2年部の2人の先生を紹介します。

まず、甲先生。授業を参観する度に、授業計画が綿密に立てられているのがわかります。板書や掲示物を見ると、この授業でどんな力を身に付けてほしいのかよくわかります。授業では、子どもの声を拾いながら、授業をコーディネートしていかれます。とても素敵だなと思います。しかし、甲先生として授業が上手くいかなかった時、「先生、どうしたらいいですか。」

「先生ならどうしますか。」と質問して、自分なりの考えを形成していく姿、本当に一生懸命で見習いたいと思います。ぜひ、一度甲先生の授業を参観されることをお勧めします。



次に、園川先生。主に、2年生では音楽の授業をさせていただいています。なんととっても園川先生の授業は、「熱量が半端ない!!!」にすぎると思います。授業の初めは、ハンドサインの「は〜じ〜め〜ま〜す」、授業の終わりは「お〜わ〜り〜ま〜す」です。その中身が、子どもたちをぐっと引きつける話術で思わず大人も引き込まれてしまうほどです。

それだけでなく、歌う時の姿勢、声の出し方、鍵盤の弾き方など専門的な知識を毎時間おさえていらっしゃるので、子どもたちの上達スピードがどんどん上がっていています。例えば、「声は、水のように出し続けているとだんだん合ってくるのできれいな音を出す意識が大切」「歌う時は、ハンドサインとともに、眉毛をあげて姿勢を良くして歌う」「鍵盤の弾き方は、たまごをもつように手を立てて弾くこと」など子どもたちに分かりやすくかつ専門的なことを教えられています。毎時間勉強になります。



このようなすてきな先生を参観できて毎日がたのしく・刺激をもらっています。どうせするなら・・・より高みを目指して頑張っていきませんか？取組、よろしくをお願いします。

【参観のポイント】

- ① 写真を撮ること（夏休みの研修で使用します！）
- ② 学びをたのしむ姿を意識（それぞれの先生が意識した項目で、）
- ③ 他のクラスを飛び込みで授業する（児童の実態把握）

